

市制60周年を記念して――

かしわら花火復活。

子どもも大人も、夢中で夜空を見上げる30分間。皆さんの期待を一身に背負って、長年、かしわら花火に携わられている葛城市の小山煙火製造所を訪ねました。

「今までになかった
演出もします。
絶対後悔させません！」

市役所から車で約40分。奈良県葛城市に、(株)小山煙火製造所があります。文政9年(1826)に創業し、花火の製造・打ち上げを行う老舗で、地域の祭りを基本としながら、「ジャパン・カウンタダウン2001」や「日本万国博覧会開催40周年記念事業」など、各地のイベントを花火で盛り上げています。そ



右：代表取締役 小山佳伸さん
左：藤本俊彦さん

んな同社が初めてかしわら花火を担当されたのは、昭和53年でした。以来、安全で心の込められたさまざまな仕掛けで、皆さんに感動を届けています。代表取締役の小山さんは、「喜んでもらいたい。その一心です。花火を打ち上げる時は、必ず観客席からビデオ撮影をして、出来栄や皆さんの反応を確かめています。柏原の方々の反応は温かい」と話します。そもそも花火大会では、安全を守るために、打ち上げ地点から最も近い建物までの距離に応じて、打ち上げ可能な花火玉の大きさが定められています。かしわら花火で打ち上げできるのは、開くと直径90mになる3号玉(約9m)までだそうで、制限のある中、



花火作り ①花火に色を付ける炎色剤。火薬と混ぜあわせて主要部品の「星」を作ります。②玉の内側に「星」をつめます。③半月状の②をふたつ、紙テープでくっつけて完成です。

今年も趣向を凝らした演出を考えてくださっています。「視界が花火でいっぱいになるような『ワイド演出』が、見どころの一つです。柏原市制60周年記念ならではの、大阪で初めて行う仕掛けも用意しています。終盤には、音楽にあわせて打ち上げる『ミュージック・スターマイ

ン』もやります。ご高齢の方など、行きたくても会場まで足を運ぶのが難しい方もいらっしゃると思いますが、離れたところからでも見てもらえればうれしいです。後悔させません」
あとは当日までのお楽しみ。オーブニングからラストまで、どうぞお見逃しなく！